

イオン株式会社
取締役兼代表執行役社長 岡田 元也
(コード番号 8267)
執行役 グループ財務責任者兼IR部長 若林 秀樹
(電話番号 043-212-6042)

イオン(株) 8月度単体営業概況

1. 売上の状況

当月度(2008年7月21日～2008年8月20日)

累計(2008年2月21日～2008年8月20日)

	前期比伸び率				既存店伸び率			
	当月度		累計		当月度		累計	
	同日対比	同曜対比	同日対比	同曜対比	同日対比	同曜対比	同日対比	同曜対比
売上	94.1	96.3	98.6	98.1	96.9	98.8	99.9	99.3
客数	96.7	98.1	100.1	99.5	100.2	101.3	101.4	100.7
客単価	97.3	98.2	98.5	98.6	96.7	97.5	98.5	98.6

※「同日対比」は、21日から20日までの期間の単純比較です。8月度は、同日比較では、火曜日・水曜日各1日増、土曜日・日曜日各1日減、祝日1日増。「同曜対比」は、当期と前期を同じ曜日回りで比較した数値です。同曜比較では、8月度は祝日1日増。

※07年9月度よりイオン北海道(株)へ11店舗を移管しています。また、当月度より(株)光洋へ15店舗を移管しています。「前期比伸び率」算出にあたっての前期実績数値には、当該移管店舗の前期実績数値が含まれています。※07年10月度より、イオン(株)〔現イオンリテール(株)〕GMS店舗の直営靴売場を、順次(株)ニューステップに移管してきましたが、当月度ですべての該店舗での移管が完了しています。「前期比伸び率」、及び「既存店伸び率」算出にあたっての前期実績数値には、移管した靴部門の前期実績数値が含まれています。

(商品部門は、「衣料」に含まれています。)

(ご参考)

靴売場移管により、当年度の売上の既存店伸び率は同日対比で▲1.1%、商品部門では衣料で▲5.7%、店舗業態ではGMSで▲1.3%の影響があります。

累計売上の既存店伸び率には、▲0.2%の影響があります。(移管が完了した8月度の実績を勘案)

<商品部門別売上高伸び率> (単位:%)

	前期比伸び率	既存店伸び率
衣料	85.8	88.6
食品	96.2	99.3
住居余暇	94.3	97.5
合計	94.1	96.9

<店舗業態別売上高伸び率> (単位:%)

	前期比伸び率	既存店伸び率
GMS	94.2	96.7
S M	91.4	100.1
合計	94.1	96.9

※GMS(総合スーパー):店舗名 ジャスコ

SM(スーパーマーケット):店舗名 マックスバリュ

2. 店舗数

	合計		GMS		SM		その他	
	当月	累計	当月	累計	当月	累計	当月	累計
開店	4	19	2	3	-	5	2	11
閉店	3	8	2	5	1	2	-	1
期末店舗数	398		250		78		70	

[開店情報]

7/23(水) ジャスコ綾川店(香川県)
7/29(火) IFQ上里店(埼玉県)
8/ 8(金) まいばすけっと六郷土手店(東京都)
8/12(火) ジャスコ久里浜店(神奈川県)

[閉店情報]

8/20(水) ジャスコ貝塚店(大阪府)
8/20(水) ジャスコ奈良南店(奈良県)
8/20(水) マックスバリュ築館店(宮城県)

※当月度より、(株)光洋へ京阪神地区のSM(マックスバリュ)15店舗を移管しています。

3. 営業概況

8月度の全店売上高は1,541億円、前期比94.1%となりました。商品部門別では、衣料が前期比85.8%、食品が前期比96.2%、住居余暇が前期比94.3%となりました。

(「前期比伸び率」算出にあたっては、前期実績数値に07年9月度よりイオン北海道(株)へ移管した11店舗、当月度より(株)光洋へ移管した15店舗、(株)ニューステップに移管したイオン(株)直営の靴部門の数値が含まれています。)

8月度は、お客さまの省エネ志向に対応した品揃えの実施と好天の影響もあり、エアコン、サイクルなどが好調に推移するとともに、北京オリンピックに合わせ売場での訴求を強化した、液晶テレビ、DVDレコーダーなどが月度を通して好調な動きとなりました。また、イオンの“お盆”生活応援企画の中で、前月度に引き続きガソリン券が当たる抽選会を実施し、ご好評をいただきました。しかしながら、ガソリン価格や食料品などの生活必需品の価格高騰が進み、お客さまの節約意識が一層高まるなか、全体の売上は低調に推移しました。プライベートブランド「トップバリュ」は、お客さまのご支持のもと、売上高構成比が前年同月度より2%超のプラスとなり、好調に推移しました。お客さまのご期待にお応えする品揃え、取組みにより、8月度の客数は、既存店伸び率で100.2%と前年実績を上回りました。

荒利益率は、7月度に引き続き、衣食住の各商品部門で昨年より改善し、全体でも昨年を上回りました。

販管費は、既存比98.6%となりました。

※月次の数値は、個別財務諸表作成基準で月次決算を実施していないため、管理会計上の未監査の数値です。